

日本語スピーチコンテスト

ジェシカさん（スペイン）

皆様、こんにちは。私はスペインから来ました、ジェシカと申します。

私が日本語に興味を持ったのは、16歳のときでした。そのころ友達で日本語に興味を持った女性がいて、一緒に日本人が教えている教室に通い勉強を始めました。

最初漢字やひらがなやカタカナを見たとき、とても出来そうにないと感じたので止めようかと思いました。それでも諦めないで一生懸命日本語の勉強をしているうちにとてもおもしろくなって来て、ますます勉強に力が入るようになりました。

漢字もひらがなもカタカナも文法もよく勉強をして分かるようになって来ましたが、いざ会話になったとき、なかなか自分で考えたようにしゃべれなくて日本語の難しさを感じました。

そうこうするうちに2005年に初めて来日しました。

3ヶ月日本にいて、日本語をしゃべるうちにだんだんと上手く話しが出来るようになって来ました。

私の目標は翻訳者になることですが、それもなかなかむずかしいので観光ガイドを目指して専門学校に入りました。2年で学校を卒業してスペインで観光会社に就職して研修もしましたが、添乗員にはなれそうもないと感じましたので転職をしました。

スペインで日本人の観光客のツアーガイドをしました。

それがとても日本語の勉強に役立ちました。

かなり日本語が上手になって来たので2007年に再来日をしました。

そのあと2008年に再々来日をしてツアーガイドの勉強をしているところです。とても日本が好きになって来ました。

将来日本に永住したいと思う気持ちになって来ました。これからもいろいろなことに挑戦したいと思っています。

実は私はスピーチがにがてで今日は来たくなかったんです。でもスピーチをやってみてとてもたのしかったです。

ありがとうございました！

張 振(チョウ・シン)さん (中国)

みなさん、こんにちは。私は中国からの留学生で、チョウ シンと申します。

今日私は最近読んだ語学に関する本の内容をみなさんに話したいと思います。語学については様々な考え方があります。さて、例えば赤ちゃんは母語を習得する時に、それを自然に身に付けるのか、例えば勉強によって身に付けるのか、みなさんはどう思われますか。

私が読んだ本から言えば、赤ちゃんは何もすることがないように見えるが、実は一生懸命自分の言葉を聞き、その音をまねしようとしています。赤ちゃんの周りには通常母親や父親がそばにいます。彼らがしゃべる言葉を、赤ちゃんはたぶん一生懸命聞いて、その音を覚え、同じ音を自分の口でも出します。それは自分の意志を伝えるためなのです。赤ちゃんは食事と睡眠のほかに、このようなトレーニングを毎日行っています。

で、以上のことから赤ちゃんは自然に言葉を身に付けるということより、学習によって言葉を身に付けるということがわかりました。

自然に言葉を身に付けるということができません。同じように私達外国人は自然に日本語を身に付けるという事はあり得ないのではないのでしょうか。しかしながら、赤ちゃんのように日本語を学ぶ外国人の例もあります。それはお相撲さん達です。彼らは自分の相撲部屋で、日本人教師と一緒に食事をしたり、稽古をしたりして、24時間共同生活をしています。ですから、彼らのインタビューを聞いて、日本語が本当にうまいなあ、と感心しますよね。

そこで私達が気づいたのは、日本語を学習するのに共通点がある、赤ちゃんとお相撲さんが言葉を勉強する時にかかる時間、いわゆる量の事です。われわれ外国人が外国語を学ぶ時に、短時間で効率がいい方法があることを望みます。しかし、この量は大切なことなんです。「勉強に王道なし」、「ローマは一日にしてならず」とはそういうことです。

私達外国人はお相撲さんのように常に日本人と生活を一緒にしているわけではありませんが、しかし、せっかく日本にいるのですから、学校の勉強以外にもたくさんしゃべったり、聞いたりして、つまり勉強の量を増やすことが大切だと思います。これは私が最近痛感していることです。

制限時間を超えてしまいました、どうもありがとうございました。

イヒネ・ジョセフさん（ナイジェリア）

みなさん、こんにちは。

私はイヒネ・ジョセフです。約9年前にアフリカのナイジェリアから日本にきました。ナイジェリアはアフリカ大陸の西側にあります。知らない人のために自分で描いてきました。

（アフリカの地図を見せて）ナイジェリアはここにいます。

私の生まれ育ったところはナイジェリアの中でも田舎の方です。学校へ行くのは1時間歩いていました。

日本へ来た当時はすべて驚きの連続でした。例えば生食などの食べ物、母国では、生食はしません。又、銭湯で知らない人と一緒にお風呂に入るとか・・・でも一番驚いたのは卵です。どんなスーパーに行っても卵が山積みです。しかも安い。でもどこを歩いても卵を産むニワトリがどこにもいない。それはとても不思議な感じでした。でも、今考えるとやっぱり普通の事なのに来た当時は私の知識はそんなものだったのです。

そんな分からないことばかりの私でしたが、一生懸命日本語を勉強して、日本語検定や日本語漢字検定4級も取り、日本語もそこそこ上手になりました。それもまた、「石の上にも3年」で努力した結果だと思えます。

今は驚いたことより感じた事の方が多いです。

毎日葛飾区から流れて来る、子供達に6時を知らせる放送。「こちらは葛飾区役所です。6時になりました。外で遊んでいるお子さん達はおうちへ帰りましょう。」

私は小学3年生の時ナイジェリアで二つ上の兄と夢中で遊んで気がいたら夜になってしまい家に帰れなくなってしまった事があります。ジャングルの中で兄と2人でとても怖かった事を思い出します。家族も心配し、村の人達も皆で火をたいて私達をさがしてくれました。私と兄はお父さんとお母さんに会えた時嬉しくって大泣きしてしまいました。ナイジェリアにもこの放送があったらこんな事にはならなかったと思えます。

私は今年の2月に帰国しました。その時、日本からラジオ体操のカセットテープを持って行きました。私は日本でラジオ体操をやって、これはとてもよい事だと感じました。この体操をするとやる気も出てきます。私が国の人にラジオ体操を教えたら皆とても喜んでいました。

私の国にはまだまだ日本から学ぶ事が沢山あります。これからも機会があったらよい事を持ち帰って広めて行きたいと思っております。

ご清聴ありがとうございました。

劉 通（リュウ・ツウ）さん（中国）

みなさん、こんにちは。劉通と申します。

私は日本語の勉強を通して、国際交流することについて、話したいと思います。

実は子供の頃から、語学があまり上手ではなかった私が、急に外国語でいろいろな国の人々とコミュニケーションが取れるようになったのは、自分でも不思議です。文法とか、単語とか、あまりよく分からなくても、練習するために沢山話します。すると、言い間違えたり、誤解されたり、それが原因で喧嘩したり、仲直りしたり、でも、それがおもしろいのでしょう。例えば、「もも」と書いてある掲示板を見せる。この言葉を見ると、皆さんは何を思いうかべますか。どちらも連想する人がいると思います。例えば、もし、相手に「ももを切ってくれる」と言ったら、変だと思われませんか。相手は「ええ～、何で俺に股を切らせちゃうんだ」と思うかもしれません。

実は、私にとって、日本語が下手でしたから、誤解された恥ずかしい笑い話があります。それは「何～何～として」という言葉です。その時、私は日本語が下手なせいで、会話に入らず、聞くしかなかったんです。ある日、アルバイト先の男の人が女の人に「あなたは女として幸せだよ」と言ったのです。その後私は、練習するために、会話に入りました。しかし、私は「として」と「とする」は同じだと思い、その男の人に「あなたは女としたいですか」と言いました。聞いた途端、彼は急に怒ったように「やめて、女の子がいるから」と言いました。理由が分からない私は、「何で言っではいけないのかな」と思って、もう一度言ってしまいました。翌日から、その彼とは全然コミュニケーションが取れなくなっちゃいました。でも、私は未だ分からなかったもので、彼に聞きましたが、「自分で考えてよ」と言われてしまいました。その後、本で調べて、初めて、本当の意味がわかりました。「女としたいですか」という言葉は実は「女とHしたいですか」を略する言葉です。ちなみに、私が本当に言いたかった言葉は「女になりたいですか」でした。

こういうことがあると、やはり言葉は難しいと思います。しかし、語学は勉強すればするほどおもしろくなると思いますから、これから、もっと頑張りたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。

ファン・ツ・ハンさん(ベトナム)

皆様こんにちは、私はベトナムから来日しましたハンともうします。
在日8年になります。子供は、小学校三年生の男の子と4歳の女の子がいます。
この場をお借りして、私なりに感じた日本の印象などについてお話してみたいと思います。

ベトナムにいたときにテレビで日本特集をみて、日本の先進国ぶりに目をみはり、来日して再度カルチャーショックを受けました。実際目のあたりにして、街にゴミなどが少なく、どこにいても人が多いのですが、みんな整然と行動をしている様子など、マナーがとても良いのだと感じました。

さて、日本で生活が始まりましたが、戸惑うことばかりで、例えば、ゴミの出し方など、それに言葉が分からない、何もかもが違うので大変でしたが、近所の方々に、とても親切に教えていただきました。日本語に関しては、ボランティアの先生方の指導により、日本語検定三級を取ることが出来ましたことを、ありがたく思っています。

それに、日本は経済もさることながら、伝統文化の維持管理にもとても力を注いでいるのです。私はお祭りや盆踊り、お正月が大好きです。四季折々の行事などが、とても楽しいのです。それと小学校の教育は個性を重視しており、子供は元気に通学しています。私も将来祖国ベトナムへ少しでも貢献できるよう心がけたいと思います。

緊張しながら話しました。
ありがとうございました。

テザノ・セルジュ・リゴベール(リゴ)さん(カメルーン)

みなさん、こんにちは。私の名前はテザノ・リゴです。5年前にカメルーンから来ました。今日は、運転免許を日本語で取ったことを話したいと思います。何も判らないで教習所に申し込んでも、ついていけないと思って、毎朝早めに起きて勉強しました。それまで、交差点、歩道、車道、横断歩道など、聞いた事もなかったので、とても大変でした。4、5ヶ月、会社の人、家族、日本語教室などで、みんなに助けられました。

ついていけるかな、と思った時に、教習所に申込みました。仮免許試験を受けるまでに、2ヶ月位かかりました。仮免実地試験は1回で受かったけれど、学科試験は5回目にやっと受かりました。それで、路上に出るようになりました。路上の運転は、実地試験までスムーズにいきました。

ここまできたから、免許はもうすぐ取れると思っていましたが、大間違いでした。これから一番大変な毎日が始まります。

休みを全部使って、子供と遊ばないで、教習所に行ってパソコンで練習問題をしました。日本語教室でも結構練習問題をしました。それで初めて試験場に行って試験を受けたら、70点しか取れませんでした。最初は50分で100問を読むことができませんでした。

試験場で売っている問題集を買って、練習問題をしないと合格できないと友達に言われて、問題集を買いました。その問題集を繰り返してやって、読むスピードは速くなりましたが、何回試験を受けてもだめでした。

あと2、3点くらいあれば合格できます。でも、毎回見たことがない問題が出て、解けないのでまた他の問題集を買いました。その新しい問題集は、漢字にフリガナがふってませんでした。妻にパソコンで100問ずつひらがなにしてもらいました。とても大変そうでした。新しい問題集を勉強して、もう一度試験を受けました。それでやっと合格することができました。

とても大変だったけれども、日本語で最後まで頑張ったので、とっても僕も家族もうれしかったです。

呉 雅恵（ゴ・マサエ）さん （台湾）

人は動物とはちがいます。車を運転したり、いろいろな所へ行けたり、考えて、いろいろな物を想像できたりします。一般的な動物は、それが全然できません。赤ちゃんは、日本人も、アメリカ人も、中国人も、最初の姿は全部同じです。どうして大人になると、よくなったり、悪くなったりして変わりますか。みんな安全な所に住みたくないですか。どうして毎日新聞に悪いことはたくさんありますか。それは心の問題です。

大人になると、有名な車がほしい、宝物がほしい、きれいな女性がほしいなど、ほしい物がたくさん生まれます。もし、お金がない場合はどうしたらいいですか。ある人は一生懸命仕事をやります。ある人は悪いことを計画します。「もし、私は毎日そのまま仕事をやって、3年後にほしい物が買える。でも今すぐほしい、他の方法があるかな〜。」とか「あの女性はとてもきれいだ。でも、私のことを全然気にしないで、あいつ高慢だ、クッソ!。」とか悪いことを考えて、悪いことを計画して、ある日、ほんとうにそうしようと思います。だから、毎日新聞に怖い事件がのっています。

いい考えがあればよくなります。悪い考えがあれば悪くなります。人間はよくなりたいですか。悪くなりたいですか。自分の心で決めると思います。心は畑と似ています。いい考えはいい種を播きます。悪い考えは悪い種を播きます。「でも、私はほしい物がたくさんあるけど、お金がない、どうするの？」その時、ちょっと考えてください。この世界で私は一番かわいそうな人じゃありません。もっともっと助けが必要な人が大勢います。私は彼らより幸せです。今もう十分です。もしもほんとうにとっても、とってもほしい物があれば、自分で努力して、もっと頑張って仕事をやって、手に入れます。このことに特別な意味があります。

私達は部屋がきたないとき、いつも掃除をします。心がきたないときも掃除してください。みなさん一緒に心をきれいにしましょう。

リ ベイさん（中国）

皆さん、こんにちは、リ ベイと申します。2005年10月に中国から来ました。

来日してから印象に残ったのは、社会の秩序は整然としていることです。

東京は人口が過密といわれていますが、乱暴な行為はほとんど見たことがありません。例えば、エスカレーターに乗るときに皆さんは順番よく左側に立って、右側を歩行者のためにあけておきます。ラッシュのときにきちんと並びながら、もみあわないで電車に乗ります。そういう細かいことがたくさんありましたので、日本人はルールを守り、勝手な行動に出たり、まわりに迷惑をかけたりしないで、意識的に自分の行動を規制するのだなぁと感じました。

何よりも日本人の優しさを感じた事件が起りました。5月に四川地震で、中国は甚大な被害を受けました。日本政府は援助物資だけではなく人的な援助をくれました。レスキュー隊と医療チームが派遣され、現地の人々と一緒に被災者を助けてくれました。その上、民間においては募金活動を行い、多くの中国人は善良な日本人に感謝をしています。中国人のこころを動かしたのは一枚の写真でした。それは日本のレスキュー隊は収容された親子の遺体に黙祷を捧げたときに写された物です。その写真はインターネットに掲載されるとすぐに評判になり、“日本人は規律を守った。礼儀正しさに今までわたしが考えた日本人のイメージとは少し変わってきました”、“いいところは日本に見習うべきだ”というプラスメッセージに沢山アクセスがありました。

そして、今年の6月に日本の東北部の地震について、中国人はインターネットにこう書き込んでいて、“われわれは地震に襲われた直後なので、震災は自分のことのように感じて、非常に痛みを覚えます。遭難者に冥福を祈ります”、“われわれは日本から援助をもらったので、出来れば、ボランティアとして日本のためになにかをやってあげたいなぁ”というコメントも出て来ました。それは大方の中国人の気持ちを代表するもので、なぜなら、愛情は世界共通であるからです。

これから、両国の国民は多く交流し、いつまでも仲良くすることを心より祈りたいものです。以上です。有難うございました。

倉持美芳（くらもち みほ）さん （中国）

こんにちは。倉持美芳と申します。
スピーチは、日本の風景について話します。

中国から日本に来て二年半が過ぎました。その間に日本の社会や国民の気質など深く印象に残っているものがあります。いくつか話してみたいと思います。

日本の風景は中国とは違いますが、環境のよさを考えると、自ずから頭が下がります。どこに行っても、自然の景観を壊す人はまったくいません。日本の人は大きな声で話したり、ゴミを道路に捨てたりしません。交通信号を守ります。日本の人々の公共心や礼儀正しさがとても素晴らしいと思います。

今年の六月に菖蒲園まつりに行った時、道に迷いました。その時そばにいた年配の人に道を聞きましたら、その人が菖蒲園まで連れていってくれました。福田さんという方でした。そこで私は一人でゆっくり綺麗な花を見た後、写真を撮ったらよかったなあと思いながら帰ろうとしていると、又福田さんと会いました。「写真を撮りましたか」と聞かれました。実は自分の家へデジカメを取りに行き、又菖蒲園へ戻って来て私をさがしてくれたのでした。わざわざ私のために写真を撮って下さいました。二日後、私の写真がいえに届きました。ほんとうにびっくりしました。とってもうれしかったです。

今年の五月十二日、中国の四川で大地震がありました。日本からたくさんの心暖まる援助をしていただきました。

日本人は心が広くて優しいと世界中で言われています。私は中国人として日本語と日本人の心を勉強したいと思っていますが、なかなか難しいです。今はシンフォニーヒルズにある日本語教室で毎週先生方に教えていただいています。少しずつですが、日本語ができるようになってきました。日本の文化にもなれてきました。日本の方々ともっともっと友達になろうと思います。中国と日本の友好のために頑張ります。今日はありがとうございました。

ジョン ヒョン チョルさん（韓国）

みなさん、こんにちは。私は韓国から来たジョン ヒョン チョルと申します。今月で日本に来て5ヶ月目ですが、今もまだちょっとドキドキしたりしながら、でも楽しい日々を過ごしています。

それでは発表を始めます。留学生の私から見た日本の文化と印象について話してみたいと思います。

まず、日本にたくさんある温泉に関する話をします。私が去年の冬に、一週間九州の温泉に行った時のことです。山のあちこちに作られた温泉に入るのはよかったし、景色もきれいでした。その場所は黒川温泉でした。あそこではお年寄りや大抵の人は、頭の上に手ぬぐいを乗せていました。ちょっと見てください。（実際に手ぬぐいを頭に乗せてみせて）「ああ、気持ちいいねえ。」（観客の笑い）知らなかったのですが、これは温泉に入って、頭が熱くなるのを防ぐためだそうです。また、一生懸命頑張っている友人は、瞑想して、一日の疲れをとっているんだな、と思いました。昔の日本人は大変な一日を送ってきて、こうやって疲れをとったのでしょうか。

また、日本は台風や地震、火山の噴火がよく起きて自然環境は厳しいと思います。しかし、日本人は何もない土地に生活の基盤を作りました。地震に対しては、耐震設計で高いビルを建てて、火山に対しては正確な地質調査で噴火を予測し、不安定な住みにくい所を住みやすい所に変えた、日本人の不屈の精神を感じました。

話は変わりますが、昔日本にはいろいろな民族がいたそうです。縄文人と弥生人、朝鮮半島から渡ってきた人々、それに、北海道のアイヌ族は、顔も言葉も違うのに、一つの国を創ったのを知って驚きました。つまり、いろいろな人達が集まって今日の日本を創ったのは、強い力は、和の精神だと思います。和の精神でお互いを気遣ったり、尊重しながら、今日の日本独自の文化を創りました。

最後に、私は日本について、いろんな分析からもっと学びたいです。ですから、私といつかどこかで道で会ったとき、いろんな質問や話をするのがあったら、みなさん、先生方、どうぞよろしくお願いします。

ファン ジュ ウォンさん（韓国）

こんにちは。私は去年9月に韓国から来ました、ファン ジュ ウォンと申します。よろしくお願ひします。

さて、みなさんは6年前の2002年、日韓共同開催のワールドカップを覚えていますか？ テレビや新聞で韓国のワールドカップ応援団を見たことがあると思います。ソウルの光化門（カンファムン）という場所に、サッカーを応援するために赤いTシャツを着たたくさんの人々が集まり、通りを赤く染めました。6年経った現在、同じカンファムンの通りに、再び韓国人が集まっています。しかし、今回はオレンジ色です。みんな手に口ウソクを持ってデモしているのです。

今年新しく選ばれた韓国の大統領イ ミョンバク政権は、アメリカの牛肉を輸入することを発表しました。世界中で問題になっている狂牛病、その怖れのある3ヶ月以上のアメリカ産牛肉の輸入に反対する動きが起きているのです。

今日はこの韓国国民の動き、韓国人が照らしているその光について話したいと思います。私は自分の意見を伝えるために、デモに参加している人々を見て、彼らを誇らしく思いました。彼らが暴力的なデモではなく、平和なデモをしていたので、その光景を見て胸が一杯になりました。それは2008年5月ごろ始まりましたが、初めの参加人数は多くありませんでした。しかし、狂牛病の危険から自分自身はもちろん、家族、国民を守るために老若男女を問わずたくさんの人々がカンファムンに集まってきました。その結果、現在イ ミョンバク政権は生後3ヶ月未満の牛のみを輸入するという条件で、再びアメリカと協議を進めています。

これは全てが、自分の国、韓国を愛している韓国人が心を一つにした結果です。国民全員が一つの目標に向かっていくということは、そんなに簡単なことではないと思います。ですが、韓国はワールドカップの時はもちろん、今回でも、すばらしい国民力を見せてくれました。韓国人のひとりとして参加できなかったことは、大変残念なことではありますが、私は日本で彼らに負けられないように生活してゆきたいと思います。

最後に、ローソクデモで照らされていた、その小さいけれど強い、なかなか消すことができないその素晴らしい光が、これからもいろいろな所で照らされることを願って止みません。以上です。

マ シンシンさん(中国)

みなさん、こんにちは。マ シンシンと申します。3ヶ月前に中国の天津から来ました。今日はわざわざおいでくださって、本当にうれしいです。どうもありがとうございます。

今日のテーマは、私の日本語についての話です。

天津で勉強していましたので、日本に来た時には、日本語が少しですがわかると思っていました。でも、日本人が話す日本語が全然わかりませんでした。とても困りました。食事をしたり、電車に乗ったりする時、日本語で話さなければなりません、日本人の言っていることがわからずに、いつも、「はい」、「はい」と言っていました。

私は今、お花茶屋にある日本語学校の「華国際アカデミー」で日本語を勉強しています。初めて本格的にひらがな、カタカナ、日本語の漢字を習いました。例文や会話も勉強しています。とても役に立ちますし、分かる言葉もだんだん多くなりました。でも実際の生活でなかなか上手に使うことができません。

こんな事がありました。ある日、郵便局へ行った時のことです。私は受付の人に、日本語で言いました。「すみません、手紙を出したいのですが。エアコンをお願いします。」受付の人は、私が言っていることがわからないようでした。私はもう一度言いました。「この手紙をエアコンをお願いします。」その受付の人は笑いました。そして私に、「ああ、エアメールですか。」と言いました。「エアコン、エアメール、ああ、はい、はい、エアメールです。」私の顔は赤くなりました。

私の大学の専門は幼児教育です。国の大学を卒業した後、幼稚園の先生をしていました。私は子供の歌を歌うのが好きで、日本でも童謡に興味を持ち、一ヶ月くらい前にCD付きの童謡の本を買いました。とても面白くて、毎日聞いているうちに、今では少し歌うことができるようになりました。特に「赤とんぼ」が気に入っています。日本語の勉強に役に立ちますし、日本の文化の勉強にもなります。日本の生活にはもう慣れました。何でも自分でする勇気があります。今日、皆さんの前で日本語でスピーチをしています。勇気があるでしょう。

みなさん、ご清聴ありがとうございました。

金 世玉（キン・セギョク）さん （中国）

1 + 1はいくつ？

みなさん、1 + 1はいくつですか。そこで私が「4」と答えたら、みなさんどうおもいますか。でも発想を変えてみると、1 + 1は必ずしも2だけではないことが分かってきます。

「奇想天外」という言葉ありますね。昔、中国では「奇想天外」と言うと少し変わっていて、ふつうの人が考えつかないようなことをすることを言いました。でも、その奇想天外が今の世界の真理を作っています。

ポーランドの天文学者コペルニクスは初めて、地球は丸くて、動いている、つまり地動説を発表した人です。宗教の圧力で、死んでから理論が発表されましたが、今はそれが常識となっていますよね。

いつかテレビの科学番組でアインシュタインのこんな言葉が使われていました。「空想は知識より重要である。知識は限界があるが、想像力は世界を包み込む。」という言葉でした。想像力と知識を組み合わせると限界に挑戦できます。つまり想像することこそ大事です。

人類は今まで奇想天外の発想でいろいろなことをやってきました。

例えば、土を焼いて陶器を作ったり、雷から電気を作ったり、そして月にも人類はいけるようになりました。

以上のように奇想天外をいつまでも奇想天外といっではられません。いつかみなさんの奇想天外でこの世界は変わっていくかもしれません。何か新しい発想があったらどんな時もおそれをなさないで大きい声で言い出してください。

最初の1 + 1の問題です。バスケットの試合では一回のゴールで2点入ることがあります。そのゴールを2回入れたら、1 + 1の答えは4になりますよ。

1 + 1の見方を変えたら、漢字「王」にもなりますよ。みなさんの1 + 1はいくつになりますか。何になりますか。これは小さな奇想天外の例です。

どうですか。みなさんにはどんな奇想天外な発想がありますか。

馬 田園 (マ・デンエン) さん 中国

環境破壊や環境汚染について、皆さんはどう思いますか。環境破壊は今世界中の問題になっています。ゴミや地球の温暖化や資源の不足はどんどん深刻になっています。これを解決する方法はあるのでしょうか。

全世界で日本は環境保護のリーダーになっています。60年代、70年代に、日本の経済が急速に発展した時に、人々の健康が脅かされたために、日本は環境保護を始めました。

日本は環境破壊を解決するポイントは子供だと分かっています、小学校から高校まで、環境についての勉強が必修科目になっています。学生たちは教室の中で環境保護の知識を学ぶのではなく先生が学生を外へ連れて行って、ゴミ問題について調査したり、ゴミ処理場や污水处理場を訪問していろいろな知識と意識を勉強しています。それ以外にも、学校でも時々ゴミのリサイクルや不要品の回収などの活動を行っています。

ゴミの分類の方法も、日本の政府は色々考えています。日本には完璧なゴミ分類のシステムがあります。葛飾区では、ゴミを「燃やすゴミ」、「燃やさないゴミ」、リサイクルできる物、ペットボトル、缶、プラ等に分けています。私の家にも、パパッと4つのゴミ箱が並んでいます。それ以外のゴミの回収も曜日によって分かれています。そうすることでゴミのリサイクルや再利用の方法もとても便利になります。市民の環境保護の意識も強いので、いくらゴミ分類が面倒でも、日本の皆さんは環境のために一生懸命頑張っています。

一方香港はまだまだスタートしたばかりです。ゴミの分類は3年前から正式に始められました。でも市民の意識はまだ非常に低いです。家庭では、ゴミを分類するという考え方がまだ無いんです。だから香港のゴミ処理は難しいと思います。

香港でも幼稚園や小学校から環境を生活科目の中に入れて教育しているのですが、今の香港の子供達は生活が豊か過ぎるので、節約の意識がなかなか身につけません。ゴミのことはじぶんに関係ないとか、道に捨てなければいいとか、資源はなくなるはずは無いとか、そういう考え方が根を張っているのです。

環境問題は一つの国や一部の人達の責任ではなく、全世界の人達の責任であり、世界中が協力して頑張って保護しなくてはならない事です。

私は今日本語学校で日本語を勉強していますが、その後、日本の大学に入って企業管理を勉強したいと思っています。企業にとっても環境は大きな問題ですし、環境破壊を食い止めるために、企業がしなければならないことがたくさんあります。環境を守るために企業はどんなことができるか、また香港の環境問題を解決するためにはどうしたらよいか、そして地球環境保護のために、何ができるかということ、これからの私の研究課題として、ずっと考えて行きたいと思っています。ありがとうございます。